

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

事業報告書

(2019年4月1日から2020年)3月31日まで)

事業の総括

2019年度の当団体の活動は、神奈川県からの委託を受けておこなう「アドバイザー相談事業」と「かながわコミュニティカレッジ」の運営が中心となりました。

自主事業としては、県内自治体や施設、事業者などからの依頼を受けて委員や講師を派遣したほか、明治ホールディングス株式会社株主優待で寄贈されるお菓子の寄贈先として、県内外14か所以上の団体に仲介手配を行いました。

また、2019度は新たな動きとして、神奈川県が大災害の被災地となったときに備え、被災者のくらしの復興をさまざまな団体が連携して長期に亘り支える仕組みをつくるため、県内の団体等の連携・協働を進めるネットワーク団体づくりに向けて新しい活動に着手しました。

(1) アドバイザー相談業務 (かながわ県民活動サポートセンターより受託)

「アドバイザー相談業務」では、県内で活動する非営利法人やボランティア団体などに対し、当団体の会員を中心とする相談員がシフトを組み、交代で相談対応・情報提供を行いました。また、県内の公設市民活動支援施設(以下、「支援センター」)の施設長対象の会議、および職員対象の研修会の企画・運営を担い、県内の支援センター職員間の相互研鑽・交流の場づくりに貢献しました。さらに、県内の支援センターから職員インターンを受け入れ、県民活動サポートセンターの相談窓口で実際の相談対応の場に陪席していただき、相談対応業務の実例を学ぶ場を提供しました。また、日本政策金融公庫、神奈川県信用保証協会の協力を得て、NPO法人を対象とした事業計画・資金調達相談の窓口を開設し、NPO法人向け資金調達セミナーを開催しました。

① 相談窓口での相談業務

県民活動サポートセンター9階の「ボランティア活動相談窓口」にアドバイザーを交代で配置し、2019年4月1日から2020年3月31日まで、毎週火曜～土曜の13時～17時、来訪・電話・メールを通じて市民、非営利団体(市民グループ、NPO法人等)からの相談に対応しました。

(※2020年3月3日から31日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため相談員の時差出勤を実施、窓口開設時間を12時～16時までに変更しました。)

相談件数は年間515件で、前年度に比べ件数は増加しました(2018年度は491件)。さまざまな相談に対応する〔総合相談〕に加え、「法人設立・運営」「NPO法人会計・税務」「資金調達」などテーマ別の〔専門相談〕を行い、幅広い相談

ニーズに対応しました。専門相談会の実施実績は以下のとおりです。

また、隔月で相談員会議を開き、相談事例の共有を行うことで、相談員の相談対応力の向上に取り組みました。

< 専門相談会の年間実績 >

当団体の相談員に加え、外部専門家の協力を得て、テーマを決めた専門相談会を毎月定期開催しました。(40回実施、相談件数は計60件)

テーマ	開催日	実施回数	相談件数	相談員
団体運営・法人設立	毎月第1・第3水曜	17回	29件	当団体所属の相談員
NPO 法人会計	毎月第1金曜	5回	7件	当団体所属の相談員
税務	毎月第3金曜	6回	10件	税理士による公益活動サポートセンターのご協力 で実施
事業計画・資金計画	毎月第2・第4水曜	6回	8件	日本政策金融公庫・神奈川県信用保証協会のご協力 で実施
報告書作成	2月	1回	2件	当団体所属の相談員
助成金申請	6月	1回	1件	当団体所属の相談員
若者ボランティア	7月	1回	0件	当団体所属の相談員
団体の活動資金	9月、10月	2回	2件	当団体所属の相談員
クラウドファンディング	11月	1回	1件	藤沢市市民活動推進機構 のご協力 で実施

② 相談窓口でのインターン受け入れ

県内の市民活動支援施設における相談対応力向上をめざし、予め希望のあった支援施設・団体より「ボランティア活動相談窓口」に職員インターンを受け入れました。

2019年7月～9月の間に下記の8施設より17名が半日間のインターンとして参加しました。実際の相談対応の場に陪席して記録を取り、当団体の相談員と情報交換をすることで、相談対応業務の実例を学んでいただきました。

参加施設	参加人数	日程
秦野市市民活動サポートセンター	2名	7/9、8/21
藤沢市市民活動推進センター	1名	8/2
ひらつか市民活動センター	4名	8/7、8/14、8/28
横浜市 にしく市民活動支援センター	1名	8/7
横浜市 ほどがや市民活動センター	2名	8/13、8/29
座間市民活動サポートセンター	5名	8/14、8/23、9/20
鎌倉市市民活動センター	1名	8/21
逗子文化プラザ市民交流センター	1名	9/27

③ NPO 法人向け資金調達セミナーの開催

高齢者・障がい者の介護やサポート、子育て支援、まちづくり、地域活性化など、地域の社会的課題に取り組む NPO 法人の方々に向けて、事業に必要な資金調達を行うために役立つ知識や情報を提供するセミナーを、横浜市内と厚木市内で各 2 回開催しました。セミナーの後に、資金調達に関する個別相談会を開催しました。

- 日時・場所：横浜会場 令和元年 10 月 30 日（水）、11 月 8 日（金）
かながわ県民センターコミュニティカレッジ講義室
厚木会場 令和 2 年 1 月 28 日（火）、2 月 4 日（火）
プロミティあつぎビル 8 階会議室
- 内容（※両会場の内容は同じ）：
 - 1 回目 講義「NPO を支える資金の集め方」
講師：手塚明美（ソーシャルコーディネートかながわ理事長）
 - 2 回目 講義「資金調達に必要な事業計画づくり」
講師：原賢治（㈱フォワードグッド代表）制度説明「NPO 法人向け融資・保証について」
（日本政策金融公庫、神奈川県信用保証協会）
- 参加者と当日の相談件数：
 - 横浜会場：10/30：参加者 17 名、個別相談 6 件
11/8：参加者 7 名、個別相談 3 件
 - 厚木会場：1/28：参加者 18 名、個別相談 5 件
2/4：参加者 18 名、個別相談 5 件

●開催報告（横浜会場）：

【第 1 回】

10 月 30 日（水曜日）午後開催した第 1 回のテーマは「NPO を支える資金の集め方」。

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事長の手塚明美が講師となり、NPO（非営利組織）を取り巻く資金事情や NPO の主な財源とその特徴などを解説しました。また、多くの NPO にとって関心の高い資金の一つである助成金を獲得するうえでのポイントも説明しました。当日は、参考テキストとして『知っておきたい NPO のこと 2【資金編・新版】（2018 年 10 月、日本 NPO センター発行）』を参加者全員にお配りしました。



【第2回】

第2回は「資金調達に必要な事業計画づくり」をテーマに11月8日（金曜日）午後開催しました。株式会社フォワード・グッド代表取締役の原賢治氏より、資金調達・事業継続の基本となる事業計画書を書く目的とその書き方について、具体的な事例が書かれたサンプルフォームを参考にしながら、ひと項目ずつ丁寧な解説がありました。また、このセミナーを共催する日本政策金融公庫と神奈川県信用保証協会から、各機関の融資や保証についての制度紹介を行いました。



【個別相談会】

第1回と第2回のセミナー終了後に、希望者向けに個別相談の時間を設けたところ、多くの参加者の方が相談を利用されました。当日は、担当講師、日本政策金融公庫、神奈川県信用保証協会、一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわの相談員がご相談を受けました。

④ 県内市民活動支援センター施設長会議（CEO ミーティング）の企画運営協力

県内の市民活動支援施設の施設長会議（CEO ミーティング）を県と協働で企画・開催しました。

- ・タイトル：令和元年度ボランティア活動支援施設CEOミーティング
- ・実施日：令和元年7月29日（月）13時30分～17時
- ・会場：かながわ県民センター11階 かながわコミュニティカレッジ講義室2
- ・対象：県内ボランティア活動支援施設長、またはそれに準ずる方
県内ボランティア活動・市民協働等の所管課長、またはそれに準ずる方
- ・参加者：42名
- ・内容：

1) 講義

「市民の参加を促す支援センターの取組みとこれから」

講師：熊谷紀良氏（東京ボランティア・市民活動センター 統括主任）

地域や暮らしのなかの様々な課題に当事者として向き合い、参加を通して課題解決に関わろうとする市民が増えていくために、支援センターはどのような取組みができるのか、東ボラでの取組みなどを紹介していただきながらお話しいただきました。

2) 実践報告

「市民参加、ボランティア推進」に関連する取組事例についての報告

3) 意見交換・全体共有

講演テーマに沿って各自治体・センターの取組み・課題の共有

4) かながわ県民活動サポートセンターからの話題提供

「災害時におけるNPO・ボランティア等の連携について」

ミーティング終了後は、支援センター関係者同士の親睦を深めるため「交流会」を行い、多くの方にご参加いただきました。

参加者アンケートの結果は、プログラム内容について概ね8割の方が「良かった」と回答されています。今後の会議のあり方については「センターが抱える課題の共有・意見交換できる場」「話し合いの時間の確保」「年複数回の開催」といった意見がみられました。

⑤ 県内市民活動支援センター職員研修会の企画運営

県内の公設市民活動支援施設の職員研修会の企画・運営を担い、支援センター職員間の相互研鑽・交流の場づくりに貢献しました。

- ・タイトル：令和元年度ボランティア活動支援施設スタッフセミナー
- ・実施日：平成30年9月9日（月）13時～17時
※台風の影響により午後からの開催となった
- ・会場：かながわ県民センター11階 コミュニティカレッジ講義室2
- ・対象：県内ボランティア活動支援施設運営スタッフ及び担当自治体職員
- ・参加者：35名
- ・内容：
（午後の部）（13:00～17:00）
 - ・ワークショップと講義「相談対応力を高めるために ～聴くをみがこう～」
講師：青木 将幸氏（青木将幸ファシリテーター事務所代表）
- ・報告：

「聴き上手ってどんな人？」というテーマで話し合い、そこで出た意見をもとに、実際に自分になりたい「聞き上手」をイメージしながら人の話を聴くワークをグループに分かれて行い、感想を発表しました。青木さんの楽しく的確なコメントに時間の経つのも忘れ、和気あいあいとしたあつという間の数時間でした。今後の相談対応で「聴く」ことをもっと大事にしたいと思わせる密度の濃いワークショップに、参加者の皆様もいろいろな気づきを得られたことと思います。



(2) 県域の中間支援組織としての仲介活動 (自主事業)

認定 NPO 法人日本 NPO センターの依頼を受け、明治ホールディングス株式会社株主優待で寄贈されるお菓子の寄贈先を推薦しました。「障がいのある子どもを対象とした活動を行っている団体」や「災害の影響を受けた子どもを支援する団体」にお菓子の寄贈が届くよう、県内外 14 か所以上の団体への仲介手配を行いました。

寄贈先団体・施設：

福島の子どもたちとともに・世田谷の会／NPO 法人スペースナナ／とどろき学習室 他 (NPO 法人よこはま・七つ星経由)／mana (まな) 障害児の親子スクール、認定 NPO 法人 Ocean's Love、みんなの居場所 (茅ヶ崎市民活動サポートセンター経由)／NPO 法人サポートハウス ワン・ピース、大和市肢体不自由児者父母の会 (大和市民活動センター経由)／ゆいまーる、フリースペース宝島 (座間市民活動サポートセンター経由)／ぴよびよくらぶ 他 (おだわら市民交流センター (UMECO) 経由)／3.11 つなぐっぺし 他 (逗子文化プラザ市民交流センター経由)／福島の子どもたちとともに・湘南の会 他 (藤沢市市民活動推進センター経由)

(3) 講師・委員の派遣 (自主事業)

自治体や各地の支援組織、NPO などの依頼に応じてセミナー・研修会・会議への講師・アドバイザー等の派遣を行いました。

< 講師・委員・アドバイザーなど派遣実績 >

- ・ 川崎市指定 NPO 法人審査会委員 <2019 年度、藤枝>
- ・ 横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース講義 <2019 年 4 月、手塚>
- ・ ボランティア参加導入研修 (生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ) <2019 年 9 月・10 月、葉石、藤枝>
- ・ 実務講座「はじめての助成金申請」(秦野市市民活動サポートセンター) <2019 年 10 月、藤井>
- ・ 環境学習リーダー養成講座「市民活動について」(神奈川県環境科学センター) <2019 年 11 月、手塚>
- ・ めぐる NPO 運営支援講座「組織力アップのための「人材」「資金」」(目黒区社会福祉協議会 めぐるボランティア・区民活動センター) <2020 年 2 月、手塚> (※3 月の第 2 回講座は中止)

※2020 年 3 月以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の研修・講座について派遣が中止となりました。

- ・ 武蔵野プレイス市民活動マネジメント講座「初心者のための NPO 法人設立入門講座 (公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団)
- ・ 2019 年度協働担い手づくり研修 (北区 NPO・ボランティアぷらざ)
- ・ 協働のまちづくり研修会 (愛川町)

(4) かながわコミュニティカレッジ事務局の運営 (かながわ県民活動サポートセン

ターより受託)

かながわコミュニティカレッジは神奈川県が開設する、地域で活動する県民の「学びの場」です。ボランティアやNPOなど、地域課題の解決や地域の活性化に向けた活動に取り組む人づくりを支えています。当団体は「令和元年度かながわコミュニティカレッジ運営業務」をかながわ県民活動サポートセンターより受託し、カレッジ事務局の運営を担いました。コミュニティカレッジの運営は平成27年度より毎年委託を受け、今年で5年目となります。

●開講講座、受講者総数、修了率について

コミュニティカレッジでは様々なテーマで年間計36講座(41本)を開講しました。さらに、特別講座として6月29日に「公開講座」を開催し、11月11日から12月9日にかけて全5回、三浦市で「地域支え合い講座」の開講を支援しました。(本報告書末尾に、参考としてカレッジ開講講座の一覧を添付)。

コミュニティカレッジ事務局は、講座の企画調整や広報・実施運営を行い、ボランティアやNPO等の活動を行う個人・団体の学びの場を支えました。今年度の受講者数は延べ1,323人となり、前年度より100名以上増えました。受講者数はコミュニティカレッジ開設以来、もっとも多い人数となります。また、受講修了率(県主催講座)は、全講座平均して9割近くに達しています。(数字は未確定値を含む)。

●公開講座「人生100歳時代のライフデザイン」の開催

人生100歳時代をテーマに今後のライフスタイルを検討している方、地域社会で自らを活かして何か始めたい方、そうした情報を得たいと考える、主に中高年齢層の方を対象に、参加無料の公開講座を実施しました。

セミナー後の受講者アンケートで、回答者の8割以上の人から「今回の講座を受けて地域活動に参加したいと思った」と回答がありました。

テーマ：「人生100歳時代のライフデザイン 地域で学び地域で活躍する」

日時：2019年6月29日午後(14:30~16:30)

会場：かながわコミュニティカレッジ講義室2

参加者：53名 (応募：75名)

講師：松本すみ子氏(シニアライフアドバイザー、有限会社アリア代表取締役)

内容：長寿社会の到来に伴い、企業等をリタイアした後の人生の時間をどのように充実して過ごすかという観点から、セカンドライフに必要な資産、充実した人生のための4つの視点(医、職、住、楽)等についてお話いただきました。その後、年間講座パンフレット等を配布し、事務局よりカレッジの特徴やこれから募集が始まる講座について紹介しました。

●「地域支え合い講座」の開講支援

『地域支え合い講座』（地域の支え合い分野における入門講座）は、2019年11月11日～12月9日、三浦市内で全5回の講座を開講しました。三浦市内や近隣市の方々を対象に、高齢になっても住み慣れた町で生き活きと暮らしていくために、未病改善の取組みや認知症について理解し、地域づくりや支え合い活動について学べる場を提供するものです。プログラムは三浦市社会福祉協議会が企画したもので、実施にあたってご協力いただきました。

参加者総数は31名。講座に参加した人のなかには、地域の未病サロンに立ち寄り、未病サロンの拠点となる居場所づくりを準備している人もいたとのことでした。講座をきっかけに、地域の支え合い活動に参加する方が増えることが期待されます。

テーマ：「体験！健康づくり活動のススメ」

日程：2019年11月11日～12月9日（毎週月曜、全5回）
13時～15時30分（第4回、第5回は13時～16時）

対象：三浦市在住・在勤・在学の方、近隣市町に在住の方

会場：三浦市民交流センター研修室

参加者：31名

主催：神奈川県

共催：三浦市、三浦市社会福祉協議会

内容：

<p>第1回（11月11日）住み慣れた町で生き活きと暮らすために <講義>生き活きと人生100年を生き抜こう！私の人生に、いつも夢と可能性を！ 【講師】佐塚玲子（NPO法人よこはま地域福祉研究センター） <講義>地域共生社会と未病改善・フレイル予防 【講師】成田慎一（三浦市社会福祉協議会）</p>
<p>第2回（11月18日）あなたの健康を「見える化」する <講義と体験>未病センター・フレイルチェック 【講師】長 恵、成田慎一（三浦市社会福祉協議会）</p>
<p>第3回（11月25日）認知症を学び、地域で支え合う （認知症サポーター養成講座） <講義と体験>認知症を正しく理解し、サポーターとしてできること、予防のためのコグニサイズ運動の体験 【講師】三浦市キャラバンメイト</p>
<p>第4回（12月2日）歩いてみよう 三浦の下町で未病ウォーク （<u>荒天のため中止</u>） <体験>三浦の下町エリアを皆で歩いて健康増進を図る「未病ウォーク」 【講師】みうら観光ボランティアガイド協会、三浦市社会福祉協議会</p>
<p>第5回（12月9日）身近なところに居場所（サロン）を作ろう <講義とワーク>地域の居場所（サロン）づくりを考える。 活動のサポート体制や相談先など 【講師】齋田聖子（三浦市社会福祉協議会）</p>



● 「よくわかる！NPO・ボランティア団体の活動と運営 基礎講座」の開催

コミュニティカレッジの県主催講座として、当団体が企画実施する「よくわかる！NPO・ボランティア団体の活動と運営 基礎講座」を、2020年1月16日～2月20日の間、全6回で開講しました。在職中の方も学びやすいよう、開講時間を夜間18:30～20:30と設定したことで、NPOやグループ活動を始めた方やマネジメントを学びたい方など、45名の方にご参加いただきました。

当団体の会員を中心に、県内のNPO・ボランティア団体に活躍されている方々に講師や話題提供者として協力いただき、豊富な実践事例を交えて、NPO・ボランティア団体の運営の参考となる話を参加者に伝えることができました。

日 程：2020年1月16日～2月20日（毎週木曜、全6回）
18時30分～20時30分

会 場：かながわコミュニティカレッジ講義室2

参加者：45名

内 容：

第1回（1月16日）

事例に学ぶ：年をとっても安心して暮らせるまちづくり

話題提供：回想法（思い出語り）による介護予防活動と地域サロンの立ち上げ支援
高島 浩子（回想法プランニング 代表）
町内福祉村活動からみえる助け合いのニーズと実践
林田 直子（平塚市花水地区町内福祉村 生活支援コーディネーター）

高齢になっても安心して心豊かに暮らしていけるまちづくりを目指し、地域でどのような活動が必要とされているか、実践例を聞いて活動のヒントを探りました。

第2回（1月23日）

講義：ボランティアが集まる企画づくり

講 師：高城 芳之（NPO法人アクションポート横浜 代表理事）

地域活動・NPO活動の原動力であるボランティアを集め、力を発揮してもらうため、どのような工夫ができるか。学生ボランティアと地域をつなぐ活動をする講師が、実践例を伝えました。

第3回（1月30日）

事例に学ぶ：子どもの育ちと家族を支える活動

話題提供：横浜、鎌倉での子ども支援活動について

東樹 康雅（認定NPO法人藤沢市民活動推進機構・藤沢市市民活動推進センター長）
親子が集い交流する場を創り、支える
椎野 典子（びよびよくらぶ会長、NPO法人命を大切に作る小田原を創る会理事長）

子ども支援、子育て支援に関わる活動に関わってきた講師の話の聞き、NPO・ボランティア活動の進め方について理解を深めました。

第4回（2月6日）

講義：活動資金の集め方

講師：藤井 京子（一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 理事）

地域活動・NPO活動の立上げや継続に必要となるお金について、会費、寄付、助成金など、それぞれの資金の特徴やその集め方について学びました。

第5回（2月13日）

事例に学ぶ：多文化共生・多世代交流のまちづくり

話題提供：料理やカルチャー活動がつなぐ異文化交流

三坂 慶子（NPO法人 Sharing Caring Culture 代表理事）

中高生がまちづくりに参画する市が尾ユースプロジェクト

葉石 真澄（NPO法人まちと学校のみらい 副代表理事）

横浜で異文化交流の活動を始めた事例、中高生と大人のまちづくり活動を始めた事例を聞き、NPO・ボランティア活動の進め方について理解を深めました。

第6回（2月20日）

まとめ：次の一歩に向けて、活動と運営を考える

講師／ファシリテーター：仲村 美津子、藤枝 香織、手塚 明美

（一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ）

講座のまとめとして、これまでの講座で得た学びや情報に関する質疑応答を行った後、自分がやりたいと思う活動や取組みのアイデアやイメージを膨らませ、皆で共有しました。



●カレッジ事務局へのインターン受け入れ

県内市町の市民活動支援センターの職員を講座開催時にインターンとして受け入れ、講座受講と並行して運営支援にも携わっていただきました。

参加施設	参加人数	参加講座
ひらつか市民活動サポートセンター	1名	「NPO 会計講座（実践）」
にしく市民活動支援センター	1名	「人が集まるイベント企画とチラシの作り方」
にしく市民活動支援センター	1名	「地域活動スタートアップ」
市民活動センターあやせ	1名	「新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座」

●コミュニティカレッジ・バックステージへの参加

全国の地域ソーシャル系大学・コミュニティカレッジ（地域の活性化や人々のつながりをめざす学びの場）の運営者が集って交流・情報共有をする「コミュニティカレッジ・バックステージ（CCB）」というイベントに、コミカレ事務局スタッフ1名を派遣しました。今年度のCCB開催地（ホスト校）である兵庫県尼崎市の「みんなの尼崎大学」には全国から多様な形態のソーシャル系大学15校が参加して、各校の特色などを共有しました。

（5）災害時に機能する被災者支援のための民間ネットワークづくり（自主事業）

東日本大震災以降、2016年の熊本地震、2018年の西日本豪雨災害、2019年の東日本豪雨災害など国内各地の被災地において、発災後の長期にわたる被災者支援の「もれ・むら」をなくすために、NPOなどの民間団体や行政、社会福祉協議会が情報共有会議をもち、連携の取れた支援活動を行う必要性が認識されるようになりました。

当団体は地域の民間中間支援組織としての立場から、2019年8月以降、認定NPO法人市民セクターよこはま、認定NPO法人かながわ311ネットワーク、かながわ県民活動サポートセンター、神奈川県社会福祉協議会、神奈川県共同募金会と定期的な会合をもち、災害に備えた地域のネットワークづくりについて意見交換を行ってきました。2019年12月にかながわ県民センターにて開催された「災害時における三者連携・協働に向けた研修会」（内閣府主催）への協力も行いました。2020年3月には、ネットワークづくりの動きを一段と加速させるため、休眠預金等活用事業「中核的災害支援ネットワーク構築プログラム」への助成申請を行いましたが、提案したプログラムは残念ながら採択されませんでした。

2020年4月、当団体は、市民セクターよこはま、かながわ311ネットワークと三者で協力して「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（準備会議）」（通称：「みんかな準備会議」）を発足させました。「みんかな準備会議」は、神奈川県が大災害の被災地となったときに備え、被災者のくらしの復興をさまざまな団体が連携して長期に亘り支える仕組みをつくるため、県内の団体等の連携・協働を進めるネットワーク団体の設立を活動の目的としています。

今後「みんな準備会議」は、かながわ県民活動サポートセンター、神奈川県社会福祉協議会、神奈川県共同募金会と共に定期的な会合を開き、発災後の県内被災者ニーズなどの情報共有の体制や方法などについて具体化を図っていきます。また、被災後の支援活動の連携の輪がスムーズに繋がるよう、多様な専門性を持つNPOなど市民活動団体、職能団体、企業などが防災・災害復興をキーワードにつながる「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（通称：みんな）」の立ち上げを、2020年度末を目標に進めます。

(6) 総会・理事会の開催状況

2019年5月27日	第1回理事会
2019年6月12日	定時社員総会
2019年12月24日	第2回理事会
2020年3月2日	第3回理事会

以 上

(参考) 令和元年度かながわコミュニティカレッジで開講した講座の一覧

(神奈川県主催講座)

講座名	講座企画実施団体	開講日程
大人の発達障害とひきこもりを考える講座 ～生きづらさを抱えた方とその家族への理解と支援を 広げる～	ふわふわの会/ (一社)ソーシャルコーディネートかながわ	6/18～7/16
発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座 (基礎編)	NPO 法人びな・パートナーシップ・ひろば	6/27～7/18
犯罪被害者支援ボランティア養成講座(初中級) ～これからの団体広報が変わる!～ 人が集まるイベン ト企画とチラシの作り方(7月開講)(9月開講)	認定 NPO 法人神奈川被害者支援センター NPO 法人男女共同参画おおた	7/5～9/20 7/21、9/1
子どもの遊びを通じたカラダづくりをサポートする カラダづくり運動プレイリーダー養成講座	一般社団法人 KISS インターナショナルインス ティテューツ	7/31～8/28
災害時ボランティア活動 実践トレーニング	NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワーク	8/3～8/24
人生 100 歳時代の NPO 体験 ～見て、聞いて、考える。自分の地域活動スタイル～	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	8/24～9/28
NPO 会計講座(基礎編)	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ/ NPO 法人税理士による公益活動サポートセン ター	8/29～9/19
園芸療法ボランティア養成講座	NPO 法人日本園芸療法研修会	9/4～11/20
共助の地域づくりを推進する講座	これからの福祉を考える会横浜	10/2～2/5
発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座 (実践編)	NPO 法人びな・パートナーシップ・ひろば	10/3～11/21
NPO 会計講座(実践編)	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ/ NPO 法人税理士による公益活動サポートセン ター	10/4～10/25
視覚障害者への情報・コミュニケーション支援を学ぼう	NPO 法人横浜市視覚障害者福祉協会	10/8～11/12
傾聴ボランティア養成講座 トレーニング研修 ～人をつなぐ心をつなぐゲートキーパー入門～ ゲートキーパー養成講座	NPO 法人シニアライフセラピー研究所 社会福祉法人川崎いのちの電話	10/29～12/10 10/31～11/21
聞き書きボランティア養成講座	聞き書きの樹	11/5～12/17
新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ/ 朝日新聞ジャーナリスト学校	11/5～11/26
地域活動スタートアップ講座	NPO 法人参加型システム研究所	11/20～12/11
傾聴ボランティア養成講座 ステップアップ研修	NPO 法人シニアライフセラピー研究所	1/7～2/18
よくわかる! NPO・ボランティア団体の活動と運営 基礎講座	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	1/16～2/20

(連携講座)

講座名	講座企画実施団体	開講日程
傾聴ボランティア養成講座 入門 (5月開講午前)、(5月開講午後)、(7月開講)	NPO 法人シニアライフセラピー研究所	5/14～6/25 7/9～8/20
「任意後見サポーター®」養成講座～任意後見を正しく知って、認知症に事前準備しよう～	NPO 法人任意後見利用促進協会®	5/16～7/18
ピアカウンセラー養成講座	NPO 法人日本ヘルスプロモーション協会	6/2～6/30
回想法リーダー養成講座(6月開講)(1月開講)	回想法プランニング	6/19～7/31、 1/15～2/19
マンション防災ワークショップ(初級編)	認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク	6/26～8/7
防災教育ファシリテーター養成講座(初級編)	認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク	6/29～7/27
対人支援者のための新しい事例検討「PCAGIP 事例検討法」入門講座	コミュ・ラボ	7/20、7/27
居住支援アドバイザー養成講座 入門コース	一般社団法人職能研修会	8/20～10/1
デートDV 電話相談員養成講座	認定 NPO 法人エンパワメントかながわ	8/25～9/28
子どもシェルターのボランティア養成講座	認定 NPO 法人子どもセンターてんぼ	9/7～10/5
こども向けワークショップ実践者「まなびゲーター」入門講座	時間と場づくりの研究所「ワーラボ」	9/27、10/18、 11/29
理科推進スタッフ体験講座	認定 NPO 法人おもしろ科学たんけん工房	10/23～2/12
犯罪被害者支援ボランティア養成講座(上級)	認定 NPO 法人神奈川被害者支援センター	10/25～12/27
在宅介護の担い手養成講座 (11月開講)(1月開講)	横浜みなと介護福祉事業協同組合	11/15、11/22 1/16、1/23
野生動物リハビリテーター養成講座(講義編)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部	11/17、12/1
マンション防災ワークショップ(上級編)	認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク	1/18～2/29